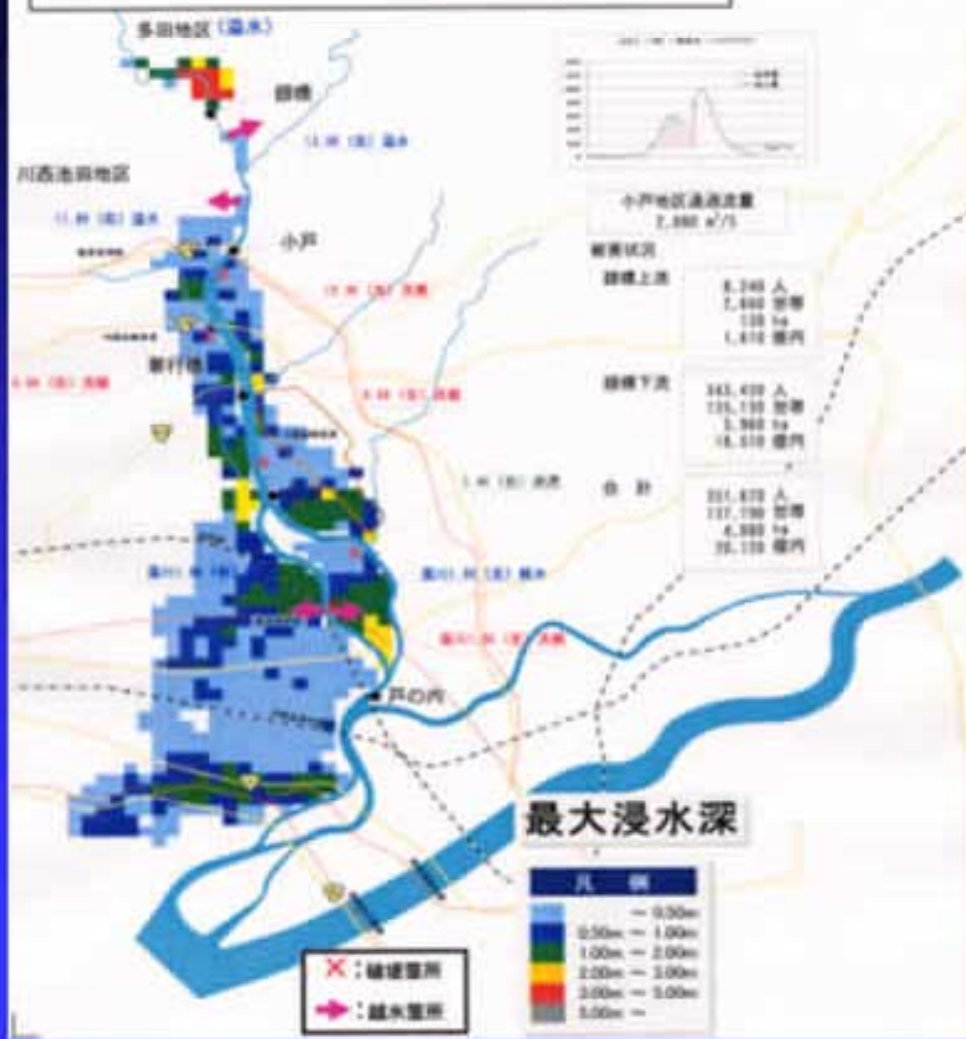


破堤回避対策 を実施すると

現況 s28.9洪水 1.5倍



現況+破堤回避対策 s28.9洪水 1.5倍



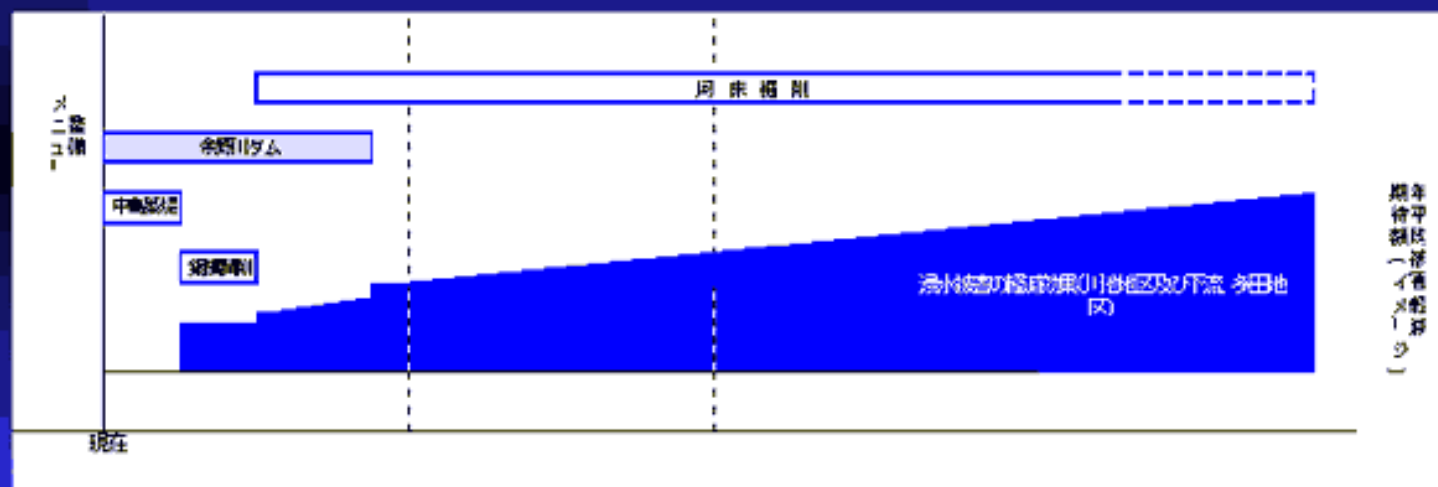
現況 ± 28.9 洪水 2.0倍



現況+破堤回避対策 s28.9洪水 2.0倍

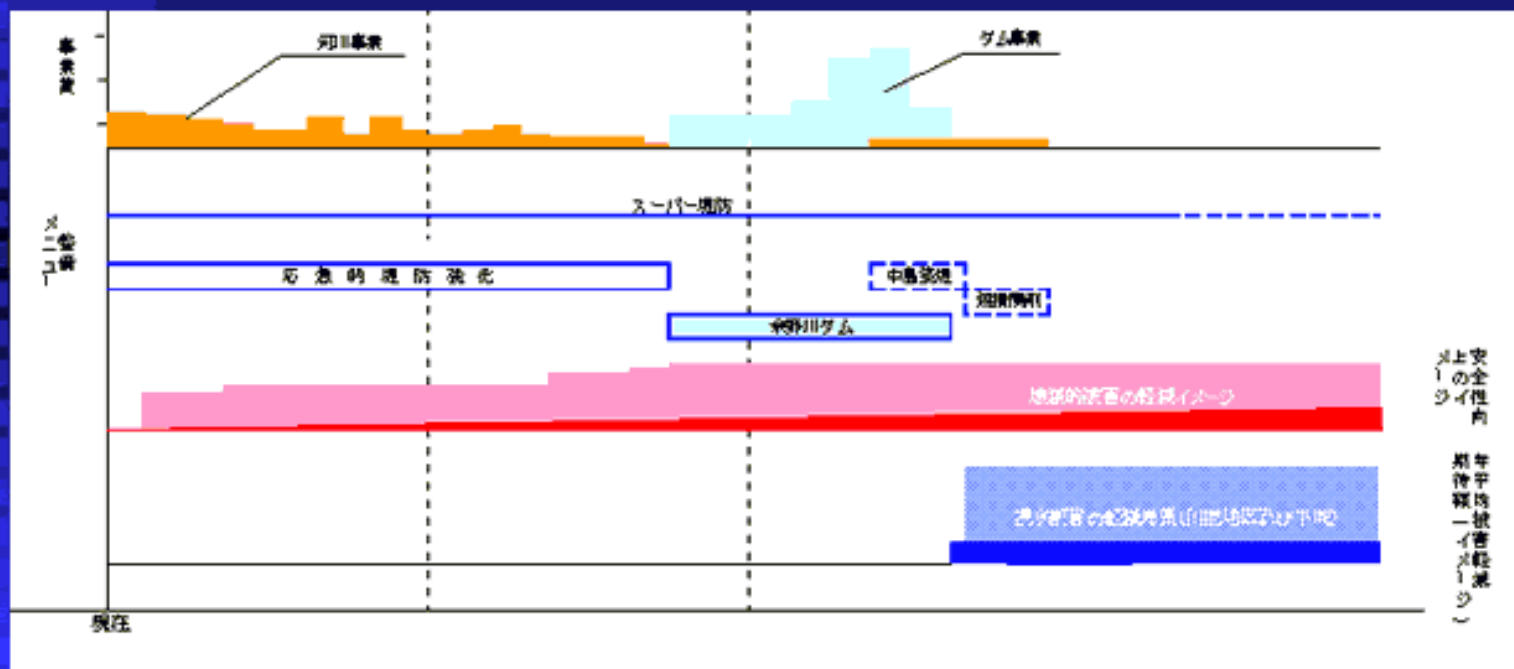


現在の整備シナリオ (効果のイメージ)



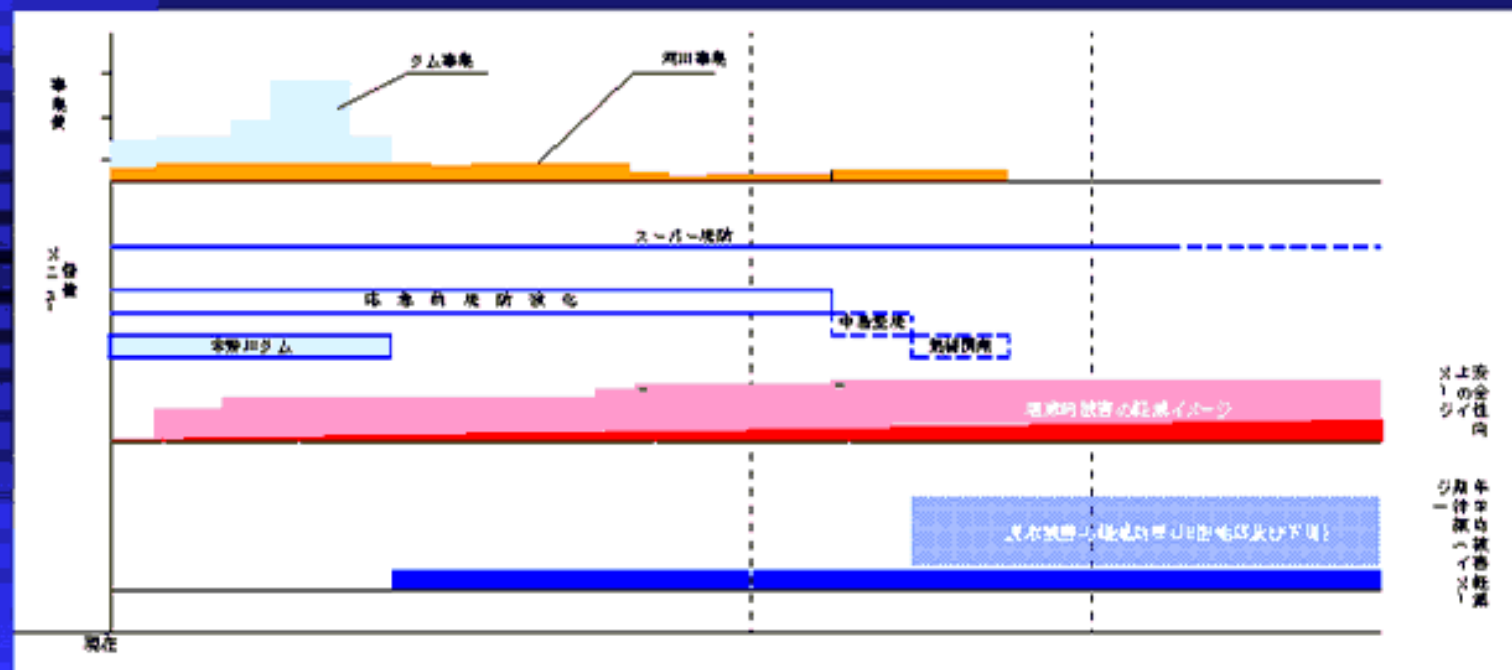
転換後の整備シナリオ1

(効果のイメージ)



転換後の整備シナリオ2

(効果のイメージ)



余野川ダムを建設すると

シナリオ1

現況+破堤回避対策 ≤ 28.9 洪水 1.5倍



シナリオ1

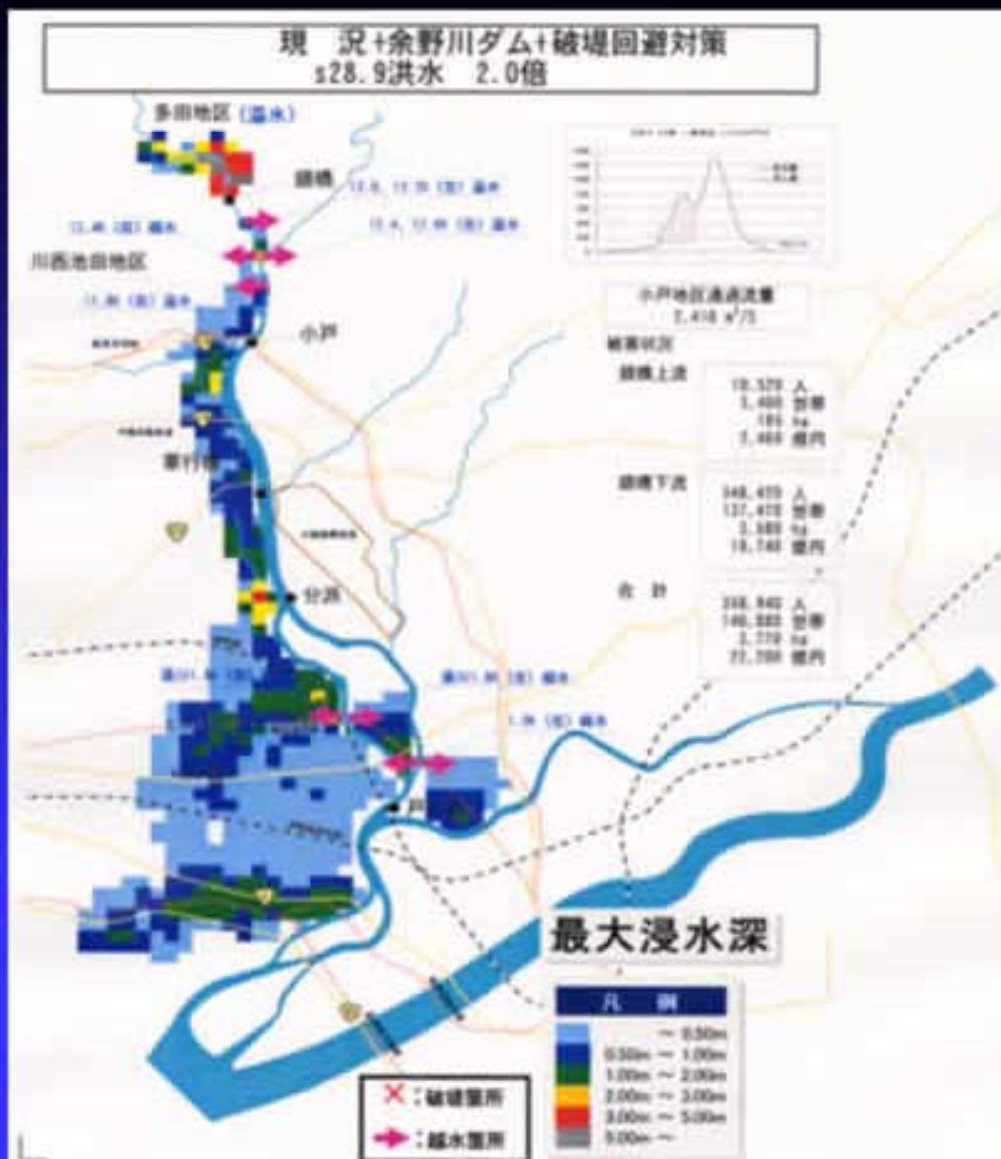


シナリオ1

現況+破堤回避対策 s28.9洪水 2.0倍

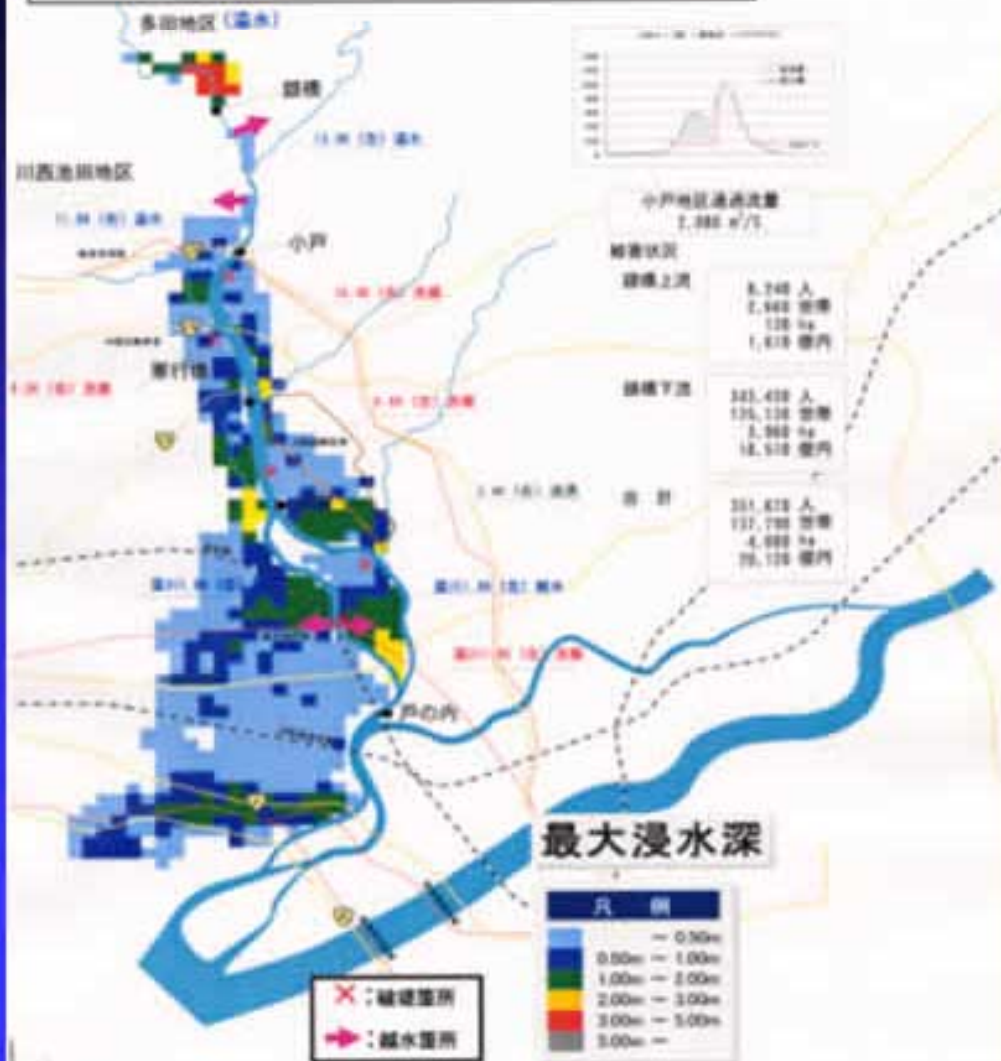


シナリオ1



シナリオ2

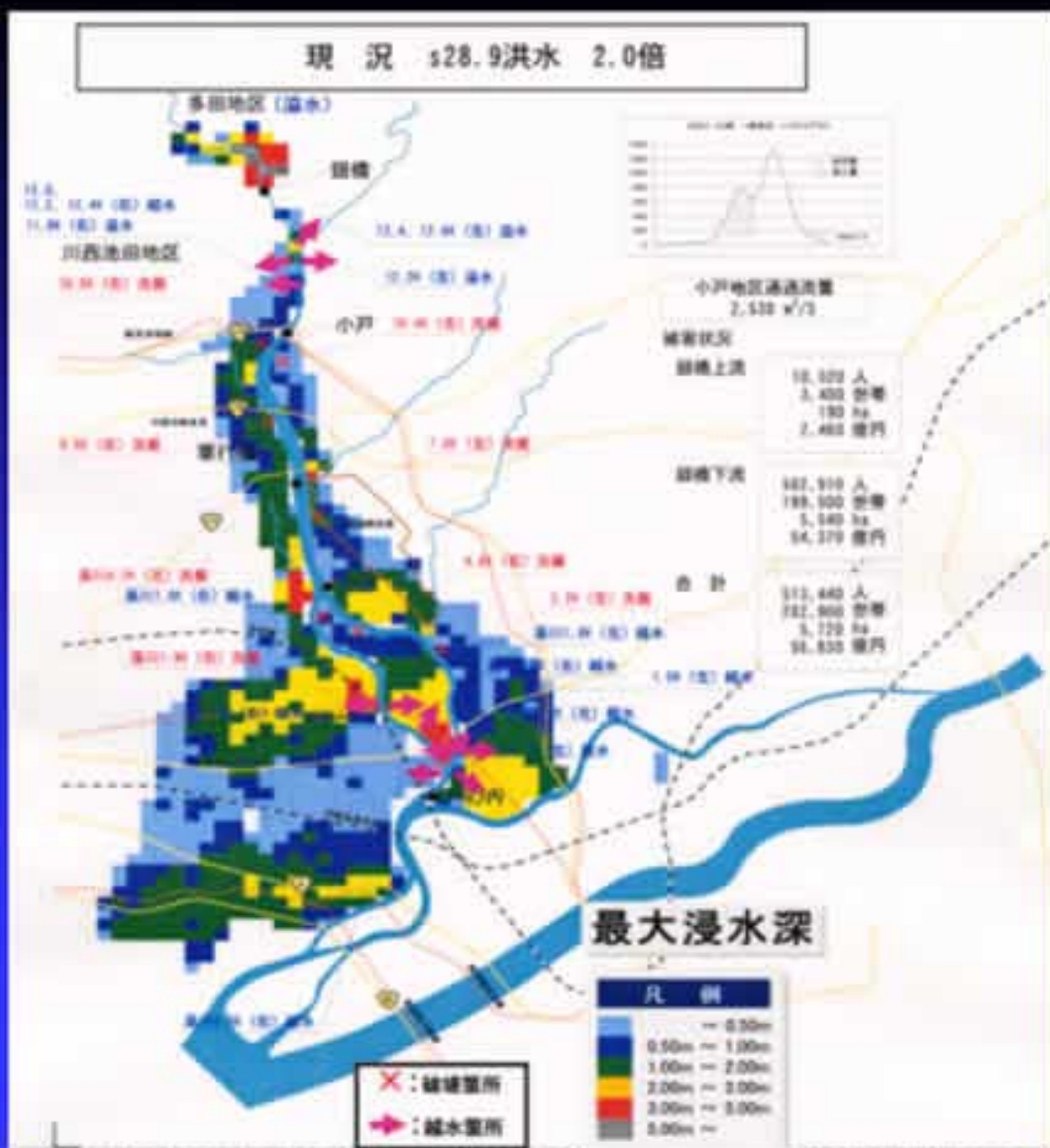
現況 s28.9洪水 1.5倍



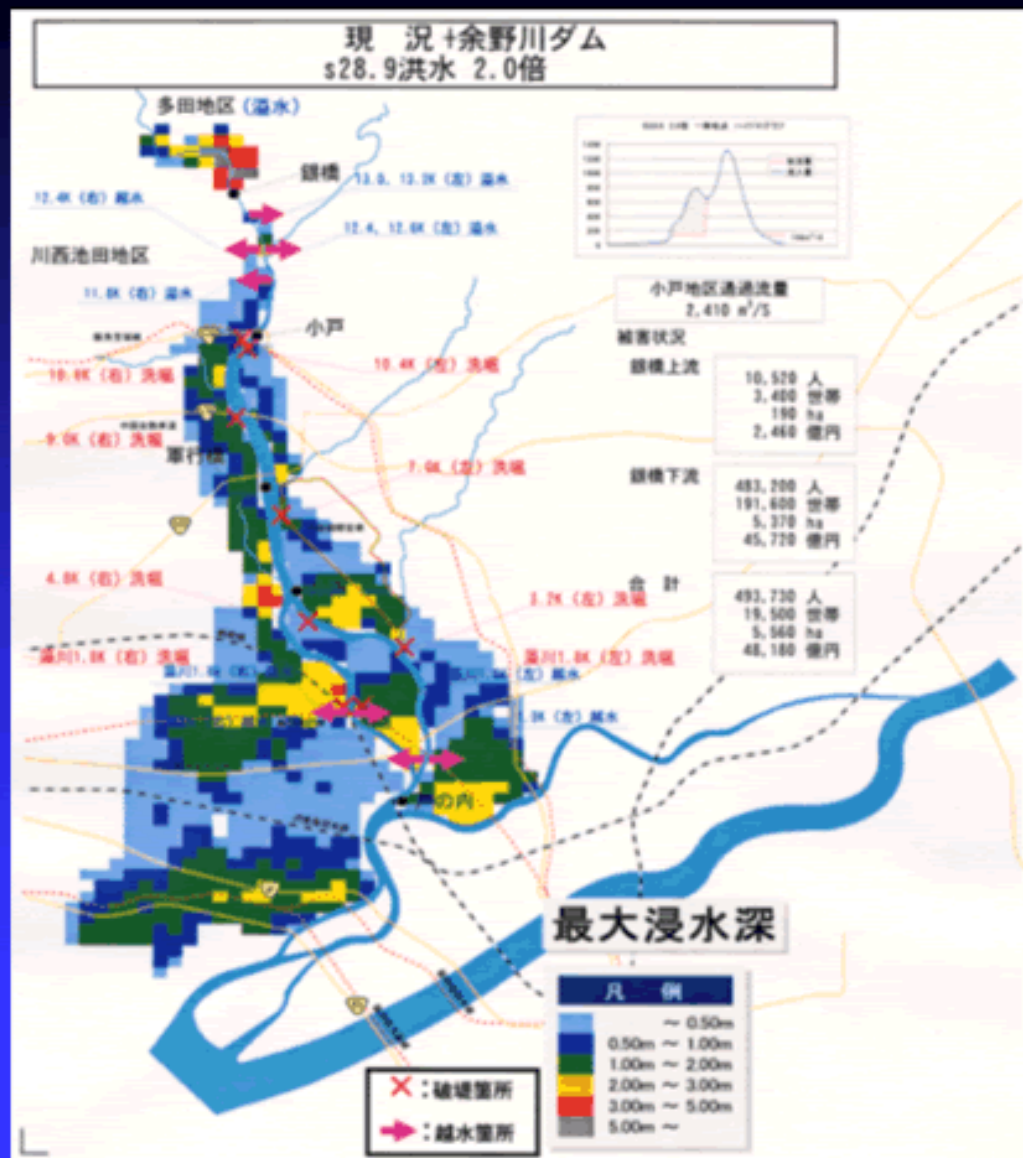
シナリオ2



シナリオ2



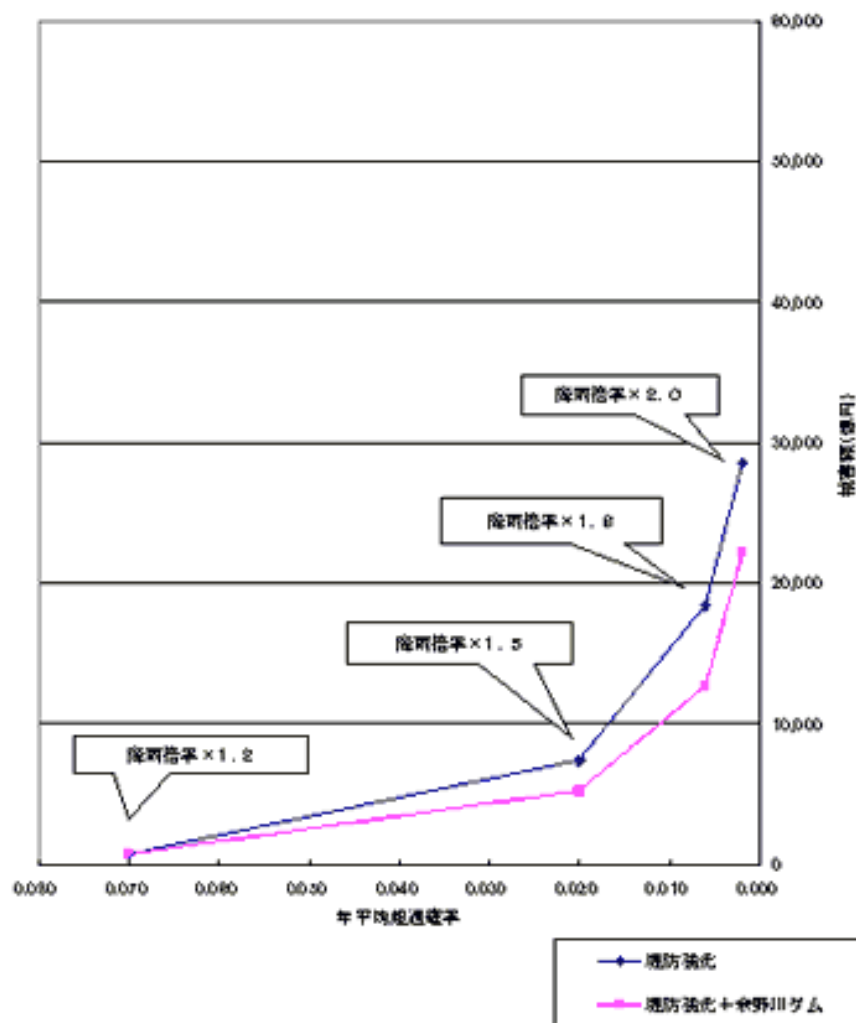
シナリオ2



シナリオ1におけるダム の効果

破堤回避対策実施
後に余野川ダムを整
備した場合における
ダムの効果

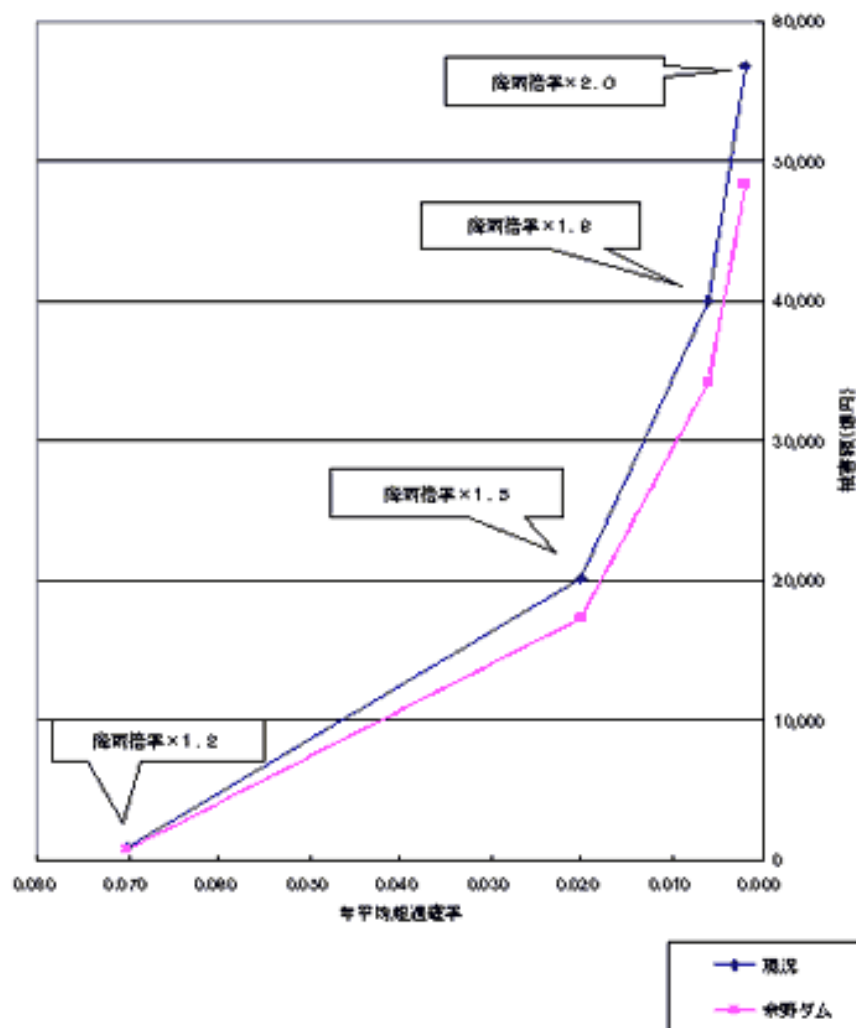
シナリオ1における余野川ダムの効果



シナリオ2におけるダム の効果

破堤回避対策と余野川ダムを平行して整備した場合におけるダムの効果

シナリオ2における余野川ダムの効果



以上に示した整備によっても、多田地区
浸水被害軽減は当面できない。

多田地区の浸水被害軽減を早期に図る
ためには、

- ・ダム計画の再編
- ・遊水池の整備
- ・一庫ダムの嵩上げ

が挙げられ、これらの可能性について今
後は検討する。